

<解答>

I 会話問題

[A]

[B]

1	2	3	4	5	6
ウ	ウ	ウ	イ	ウ	ア

II 空所補充

7	8	9	10	11	12
キ	エ	オ	カ	ウ	ア

III 文法4択

13	14	15	16	17	18	19	20
イ	ウ	ア	エ	イ	ウ	エ	イ

IV 同意文選択

21	22	23	24
ア	エ	イ	エ

V 単語

25	26	27	28	29
イ	ウ	ウ	エ	ア

VI 語句整序

30	31	32	33	34	35	36	37
ウ	カ	カ	ア	エ	オ	オ	エ

VI 長文内容一致

38	39	40	41	42	43	44	45
エ	イ	イ	ウ	ウ	ウ	エ	キ

<解説>

I 会話問題

[A]

- ウ 「そちらのホテルでシングルルームを予約したいのですが。」
◎直後の A が “When will you be arriving?” と B がホテルに来ることを前提にした質問をしているので、B は宿泊を希望する旨を申し出たと考えられる。
- ウ 「なにかほかの部屋は空いていますか。」
◎B の要求した種類の部屋が満室で断った後に A が別の種類の部屋を勧めていることから、B は別の種類の部屋の空き具合を尋ねている。
- ウ 「これらの部屋はどちらも一泊につき 50 ドルになります。」
◎直後に B が “That’s not a bad price.” と評価をしているので、A は具体的な価格を提示している。

[B]

- イ 「かなり多くの人が職を失うかもしれないって言われたわ。」
◎直後の B が “I knew the company wasn’t doing too well.” と会社の経営がうまくいってないことを述べているので、悪いことが起こったと考えられる。
- ウ 「どれくらいの人が失業するんだろうか。」
◎直後の A が “~ up to 20 percent of the employees could be cut.” と述べているので、具体的な数値を尋ねている。
- ア 「定年までいられるといいんだけど。」
◎直後の A が “Me, too. ~” と述べていることから。最後の B に “~ I’ve been here for nearly that long as well.” とあるので、イ. ~ I haven’t been here long は不適切。

II 空所補充

- キ In 1974, he (**presented**) a new theory. 「1974 年に彼は新しい理論を発表した。」
- エ ~ a nation’s economic growth does not always (**lead**) to its people becoming happier.
「~国家の経済的成長により、その国民がより幸せになるとは必ずしも限らない。」
- オ ~ they get enough money for basic (**needs**), ~ 「~彼らが必需品を得るのに十分なお金を得る~」
- カ Easterlin (**pointed**) to Japan as an example. 「イーストリンは日本が一つの例であると指摘した」
- ウ ~ Japan (**experienced**) an economic boom, ~ 「~日本は好景気を迎えた~」
- ア ~ did not seem to grow (**any**) happier. 「~は全然幸せになっていないようであった。」

III 文法 4 択

- イ not to go
◎choose は目的語に to 不定詞も動名詞も取り得るが、否定語の位置は準動詞の前。ア. not going to は to が不要。
- ウ conducting
◎分詞構文で while の後に they were が省略されていると考える。
- ア go Even if things (go) well, ~ 「たとえもし物事がうまく運んでも、~」
◎if 節の中が完全でなければいけないが、主語が things と複数形なのでエ. is going は不可。
- エ with whom ~, (with whom) he had two sons. 「~、その相手との間に二人の子供をもうけていた。」
◎関係詞節内が完全な文の形を取っているので関係代名詞であるイ. that ウ. whom は不可。また先行詞が人なので物をうけるア. of which も不可。
- イ run
◎使役動詞 make は第 5 文型をとり、補語の位置には to 不定詞や現在形ではなく、原形不定詞を取る。
- ウ by far
◎形容詞の最上級を強めるために the の前に置くことができるのは much, by far.
- エ more
◎of の後ろにある the budget が単数扱いなので、可算名詞の複数形に用いるイ. few ウ. many は不可。代名詞の場合ア. any は母集団が 3 つ以上の時に用いるので不可。
- イ having watched
◎分詞構文で he が省略されていると考える。エ. は After (he was) watched, ~ となって意味が通じない。

IV 同意文選択

21. ア keep one's head : 冷静である、取り乱さない
[He **panicked** while the economic crisis was occurring.] 「彼はその経済危機が起こっている間に取り乱した」
22. エ leave O alone : O を 1 人にしておく、そっとしておく ; O に触れない
[The boy was ordered not to **bother** the cat.] 「その少年はその猫には触れないように言われた」
23. イ look into ~ : ~を調査する
[I **checked** to see if I could study in France.] 「私はフランスに留学できるかどうか調査した」
24. エ make no difference : 重要ではない、問題ではない
[I **do not really care** whether he has dinner with us.] 「私は彼が我々と食事を共にするかどうか全く気にかけてはいない」

V 単語

25. イ fossil : 化石
(a) 「大昔に存在していた植物や動物の残存物」
(b) 「彼らは一万年前に存在した魚の(化石)を岩石中に発見した」
26. ウ disaster : 災害・災難・惨事
(a) 「多くの人々に多大な損害と痛みを与える出来事」
(b) 「オーストラリアでの洪水はその地でそれまでに起きた最大の(惨事)であった」
27. ウ deceive : 欺く・だます
(a) 「人に真実ではないことを信じ込ませる」
(b) 「その男は多くの人々を(だまして)自分の所有していない土地を買わせようとした」
28. エ secure : 安全な・危険のない
(a) 「安全である ; 危険や損失がない」
(b) 「旅行中はパスポートを非常に(安全な)場所に入れておきなさい」
29. ア considerably : 相当に、かなり
(a) 「多くの ; 多量の、多数の」
(b) 「今日は先週に比べて(相当)多くの人都在这里」

VI 語句整序

[A]

30. ウ 31. カ It never [**occurred** to him that he **would** be] appointed captain of the team.
◎It occur to 人 that ~ 「~ということが人(の心)にふと浮かぶ」

[B]

32. カ 33. ア We must [do **whatever** we **can** to help] them modernize their country.
◎help O do 「O が~するのを手助けする」 to help 以下は目的を表す不定詞の副詞用法。

[C]

34. エ 35. オ [**Having** a discussion with all **the** employees] seems to be the best way to solve the problem.
◎Having 以下は seems の主語になる動名詞。all the 名詞 の語順に注意する。

[D]

36. オ 37. エ Jane was employed by the manufacturer, and [**so** was her brother although he was **much**] younger.
◎so V S 「(前文を受けて) S もそうだ」 much は比較級 younger を強めるために用いられている。

VII 長文内容一致

問 1 (38) エ 「動植物の数が減少する危機にある 1 つの理由は森林伐採であると科学者は考えている。」

◎第 1 段落最終文に多くの種を脅かす要因の 1 つとして **deforestation** が挙げられている。

ア. ~, the number of plant and animal species **has declined from 30 million to 1.5 million.**

本文では、1.5 million→30 million とある。

イ. **Pollution, deforestation, and the use of animal products** **have caused** ~ to increase to 30 million.

第 1 段落最終文で、pollution, ... は動植物の数を減少させる要因として挙げられている。増加の原因ではない。

ウ. Scientists ~ classify **fewer** plant and animal species in recent years.

近年の調査で種の数には大幅に増大したことがわかる。

問 2 (39) イ 「すでに完全に消滅した種」

ア. 「近い将来消滅する可能性のある種」本文 “**endangered species**” に相当する。

ウ. 「生息環境が破壊されつつある種」本文 “**threatened species**” に相当する。

エ. 「個体数が減少しつつある種」本文 “**vulnerable species**” に相当する。

問 3 (40) イ 「絶滅危惧種は生存し続けるためには保護されなければならない」

◎第 2 段落第 7 文に “**it needs protection in order to survive**” とある。

ア. A few examples of **extinct species** are ~, **the Siberian tiger, and the Mexican long-tongued bat.**

シベリアトラは endangered species, メキシコシタナゴウモリは vulnerable species の例。

ウ. **Even if they are protected**, all endangered species will eventually **become extinct.**

本文には「生存するには保護が必要だ」とある。

エ. ~ has a total of **three** categories for species, **one of which is extinction.**

絶滅の危険にある動植物を 3 つのカテゴリーに分けている。それとは別に絶滅種というカテゴリーもある。

問 4 (41) ウ 「人類は生息地を破壊するために狩りをしている」

ア. 「人類は動物の生息する地域を破壊している」 **第一番目の要因に相当する。**

イ. 「人類はある生物種を絶滅寸前まで狩猟している」 **第二番目の要因に相当する。**

エ. 「人類は食料や薬としてある動物を過度に使用している」 **第三番目の要因に相当する。**

問 5 (42) ウ 「生物種が絶滅の危機にさらされる主な理由は、人間が動物の生息地域を破壊することだ」

◎第 3 段落第 2 文に “**The main cause of species endangerment is humanity’s destruction of ~ habitats**” とある。

ア. Large numbers of animals die out, which **then causes** animal habitats to be destroyed. 関係が逆。

「環境の破壊」→「種の絶滅」

イ. Some endangered animals can be saved with **proper medication and healthy food.** 本文に根拠なし。

エ. **Various kinds of animals** **cause** ~ habitats to be destroyed. 動物が環境破壊の原因ではない。

問 6 (43) ウ 「外来種を新しい環境に導入することは、絶滅危惧種の生存を助ける 1 つの方法だ」

◎本文では外来種の導入を、種の絶滅をもたらす要因の 1 つとして説明している。

ア. 「気候の変化は外来種が新しい地域に入り込む原因となりうる」本文では **Other natural causes** として述べられている。

イ. 「在来種とは、ある地理的環境に常に生息する動植物である」第 4 段落 2 文目に述べられている。

エ. 「人間が動物を持ち込むのは、意図的な場合もあれば偶然の場合もある。」同 3 文目に述べられている。

問 7 (44,45) エ・キ

エ. 「NWF[全米野生生物連盟]は絶滅の危機に瀕している、もしくはすでに絶滅した動植物に対して全部で 4 つのカテゴリーを設けている」第 2 段落に述べられている。

キ. 「外来種を新たな環境に持ち込むことは、しばしば他の種が数を減らす原因となる」第 4 段落に述べられている。

[講評]

- I 例年よりは素直で読みやすい。最後まで読まずに6.で迷った受験生もいるかもしれない。(-2)
- II 例年と違い、品詞のみでは選べず、内容に踏み込まなければならぬ設問が多く7. 10. 11. 12.あたりで失点する可能性はある。 (-2)
- III 例年並み。19. 20.あたりで迷ったかもしれない(-2)
- IV 例年並み。21.は文脈からも推測が難しい。(-3)
- V 例年並み。強いて言えば29.がやや選びにくい。(-2)
- VI 例年並み。〔D〕の倒置に気づかなかった受験生もいるであろう。(-3)
- VII やや易。話題も一般的で問題の作りも素直。(-0)

全体としては例年並みか、やや易。出来れば9割、少なくとも8割5分は死守したい。

医歯学部進学予備校 **メビオ**

〒540-0033 大阪府中央区石町 2-3-12 べいお7天満橋

TEL 06-6946-0109 FAX 06-6941-9416 URL <http://www.mebio.co.jp/>

